



川永小学校だより 6月号

コミュニケーションの力

学校長 碓間 正子

工事中フェンスの向こう側にある給食室横のあじさいが「もうすぐ咲くよ」と語りかけているようです。そろそろプールのブロック塀の工事が完了し、学校では、6月のプール開きに向けて準備を始めようとしているところです。

4月の学級開きからスタートした新学年。5月になると声を掛け合って遊んだり励まし合ったりしている子供たちの姿が見られ、新しいクラスにも慣れてきたのだなと嬉しく思っています。言葉のやりとりから、新しい友達ができているのですね。

一方、使い方を間違えると相手を傷つけてしまうのも言葉です。友達とのやりとりで、ほんの少し行き違ったり、誤解から仲たがいになったりしてしまふこともあります。最近では、ご家庭によっては子供が SNS（メールやライン）でのやり取りをしている現状もあるようです。SNS は確かに、おとなにとっては便利なものです。しかし、小学生にとっては、顔が見えないコミュニケーションであるがゆえに、難しさがあります。文章の意味の取り違えから誤解を招いたり相手を傷つけたりすることもあり、解決に時間がかかったり、解決できない事例に発展してしまふこともあります。

先日、4・5・6年生が情報モラルについて出張講座を受けました。正しく使えば便利なツールも、軽い気持ちで使うと大切な友達を失ってしまうことがあることに子供たちは気づいたようです。また、なりすましや情報拡散、課金による被害等に小学生が遭っている実態があることも教えていただき、自分たちの将来にまで影響があることを知りました。かわいい子供たちが、被害に遭わないよう、大人が責任をもつことが大切です。

5月27日には中国寧波市から児童・先生・通訳の方々38名をお迎えし、6年生を中心に歓迎式と授業交流、4・5年生も給食交流・昼休憩、掃除、読書交流を行いました。言葉は、英語と中国語。あとは、身振り手振りでのコミュニケーションでしたが、それだけで中国の方々と共に遊んだり学んだりできていた子供たち。何とすばらしいことでしょう。

「一つの言葉には一つの心がある」しかし、「言葉が通じなくても、心を通わせることはできる」ことを感じた出来事でした。

コミュニケーションに必要なことは、相手のことを思いやれる気持ちです。相手を意識し、気持ちの良いコミュニケーションができる子供たちを育てていきたいと考えています。保護者のみなさま、地域のみなさまもご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

